

厳寒期、日照不足期に

植物代謝機能促進アミノ酸液肥

アミノリキッド グリシンパワー 6-0-0



Tanaka

5 mins

低分子のアミノ酸「グリシン」高含有(窒素分の2/3)なので、天候不良時でも植物が吸収可能。グリシンは甘味・旨味の成分で耐霜・耐寒力を高めます。また、キレート作用により微量元素(Ca、Mgなど)の吸収も助けます。



Takahashi

20 mins

そういえば田中さんは最近でも安定して出荷しとるしかよ。



Suzuki

30 mins

毎年、長雨やら寒波やら天候に振り回されてばかりやもんねえ...



Sato

1 hour

最近、天候不順で育成が悪うてものが出せんねえ~



グリシンとの混合散布で さらに効果が確実に

バランスのとれた 養分補給

低分子亜リン酸肥料との混用

アミノリキッド
グリシンパワー

+

or



ホストップ
(0-25-20)



ホスカル
(2-15-0-Ca5)

根圏の活性化

光合成細菌の活性化に

アミノリキッド
グリシンパワー

+



M.P.B
(光合成細菌)

光合成能力アップ

葉緑素の増加に

アミノリキッド
グリシンパワー

+

+



ペンタキープ
(ALA)



鉄力あくあF10
(Mg、Feなど)

■ 作物に応じて、複数の組み合わせでご使用ください(これらの商品はすべて混用が可能です)。

■ アミノリキッド・グリシンパワーの特長

アミノリキッド・グリシンパワーに含まれるアミノ酸には以下の特長があります。

- グリシン単体で最も低分子のアミノ酸(75.0)で吸収が早い物質です。

土壌緩衝作用 : 酸性液ではアルカリの方向、アルカリ液では酸性の方向に作用し、pH調整効果があります。

キレート作用 : カルシウム、マグネシウム、ケイ酸等の微量要素を包み込み吸収を向上させます。

糖度効果 : 砂糖の約70%の甘味があり、農作物の糖度を上げる効果が期待できます。

■ アミノリキッド・グリシンパワーの保証成分

成分	N			P	K	登録番号
	TN	ON	UN	WP	WK	
6-0-0	6	4	2	0	0	生第89127号

■ アミノリキッド・グリシンパワーの使用方法

- 土壌に施肥(灌水)の場合は、10アール当たり5～10kgうすめてご使用ください。
- 葉面散布する場合は、500～1000倍にうすめてご使用ください。
- 施肥量を多少多めにお使いいただいても、肥料傷みや副作用はありません。
- **アミノリキッド・グリシンパワー【80%】+ホストップ【20%】**を混合すれば、成分:4.8-5-4になります。
その混合液を500～1000倍にうすめてご使用ください。

	ナス、トマト、キュウリ	開花前3日より開花終了まで
	スイカ、メロン、イチゴ	5～7日おき
	豆類(えんどう、そらまめ等)	開花前10日より収穫期まで適宜
	果実	開花前10日より収穫期まで適宜
	キャベツ、白菜、レタス	結球開始前
	お茶	春肥前より随時(適宜)
	ニンジン、ダイコン、たまねぎ	地下部肥大期より7～10日おき

定植前の使用例

苗

定植の半月前より4～5日おきに500～1000倍を十分に散布してください。

定植床

定植3～5日前に10アール当たり5～10kgを希釈して均一に土壌に施肥してください。

■ 取扱上の注意

- 薄めた液は残さずご使用ください。
- 原液は栓をして、日陰に保管してください。
- アルカリ性、金属性の農薬との接近散布および混合散布はしないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 家畜に与えないでください。